

第98回

全国高校野球 青森大会

第6日

石商を破った。センバツ出場の八学光星は8-1で青森に七回コールド勝ち。青森山田は7-3で青森中央を破った。このほか弘前東、弘前実、柏木農、野辺地西、八工大二、弘前工大湊三沢が4回戦に進んだ。第7日の14日は県内4球場で8試合を行い、8強が出そろった。
(本紙取材班)

野辺地西猛攻13点

青南攻守に精彩欠く

2年生大池が4安打

▽3回戦(六戸メイプル)

野辺地西	0210	0253	113
青森南	0000	0100	113

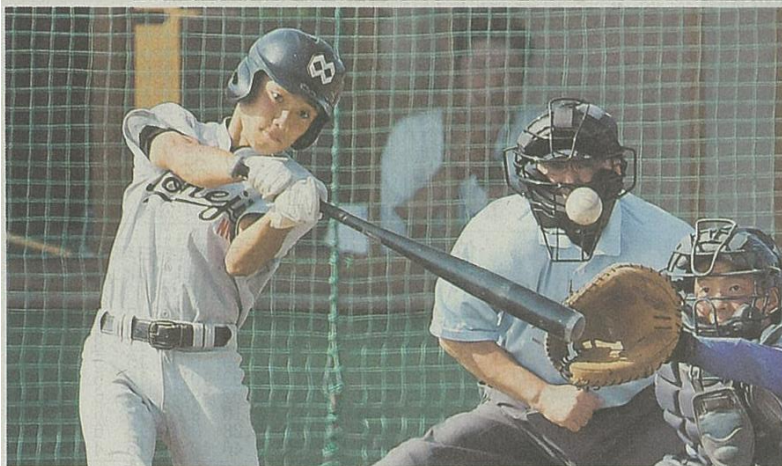
(六回コールド)

(野) 中道、太田、伊藤、大向
 (青) 秋村、辻一工藤
 ▼三塁打 向井(野) ▼二塁打 向井2、大池(野)
 ▼暴投 秋村2(青)
 ▼審判 古川幹(球) 小田(1B) 石田(2B) 金(3B)

【評】野辺地西は初回1死一塁から向井の右中間二塁打、横山の中前打と適時打をつなげ2点を先制。二、四回にも大池の適時打で加点した。五回には6長短打や犠飛を絡めた打者一巡の猛攻で5点を加え、リードを大きく広げた。

青森南は打線が数発4安打と好機をつくれなかった。先発秋村は初回から連打を浴び、被安打15で10失点。守備陣も4失策と乱れた。

【野辺地西―青森南】4回表、野辺地西無死二、三塁、大池が左中間に2点適時打を打ち、0とリード。捕手・工藤、六戸メイプル



は8強を懸けシード校の一習してきたことをもう一八戸西と対戦。「きょう一度確認して挑みたい」との結果はリセットし、練意気込んだ。